



変革をより確かなものへ

代表取締役社長

加賀美 猛

DXによる「成長に向けた変革」が前進

2024年4月から、建設業界においても改正労働基準法が適用されました。新菱冷熱では、2016年より働き方改革に取り組んできたため、2024年度は時間外労働の上限規制を守りながら、受注高・売上高・営業利益ともに、前年度を上回ることができました。しかし、世界情勢に目を向ければ、円安による建築資材の高騰、ウクライナ・中東情勢が与える資源価格リスクの上昇、台湾情勢など高い緊張感に包まれており、より安定した経営基盤の構築が不可欠です。

今年で最終年度となる中期経営計画第15次3ヵ年計画では「成長に向けた変革」を掲げ、力強い成長を実現するための土台づくりに取り組んできました。これまでのところ順調に計画を達成でき、変革への手応えを感じています。現在、新菱冷熱では、これまで個々の現場で行っていた仕事をバックオフィスに移管し、施

工現場とバックオフィスが一体となって高品質・高効率な仕事を実現する「個から組織へ」という施工プロセス変革に取り組んでいます。2024年9月時点で、既に50%以上の施工現場で着手することができています。残り1年で、さらなる生産性向上を目指します。

また、建設現場におけるDXの要であるBIMの導入も積極的に推し進めており、デジタルトランスフォーメーション推進本部と各現場が協力し、この新しい施工に挑戦しています。海外においても、国境を超えての取り組みが進んでいます。さらに、BIMの世界的企業であるAutodesk社と2024年3月に戦略的提携に関する覚書(MOU)を締結し、デジタルによる業務プロセス変革を加速させる計画です。2023年に建築設備会社7社と発足した「設備BIM研究連絡会」では、業界全体でのBIM普及の活動も行っています。

未来・環境エンジニアリングカンパニーに向けての取り組み

2018年にインドの設備エンジニアリング会社(現 新菱スビダ)をグループ会社化し、インド市場へ進出したのに続き、2024年10月、新たにインドを代表するクリーンルームパネルメーカーであるGMP Technical Solutions Pvt. Ltd.の株式を約85%取得しました。これにより、近年製薬関連ビジネスが拡大しているインドにおいて、クリーンルームの設備施工とクリーンルームパネル製造の一括受注が可能になります。同時にインドが国を挙げて取り組んでいる半導体工場の受注においても、好材料となるものです。

重要戦略として掲げている「Green & Digital領域を狙う事業創出力強化」は、当社の成長の源泉と考え数多くの取り組みを行っています。ここでは2024年3月に開所したイノベーションハブ本館の取り組みについて紹介します。当社では、自社物件において最新の環境技術を実証・改善したうえで、お客様に提供することをこれまで繰り返しており、イノベーションハブ本館においても同様の取り組みを行いました(☞P16、P27)。日射を削減する大きな屋根や吹き抜け、天窓などを設け、複数の空調制御方式によって温度・湿度・光をコントロールすることで、屋外と屋内の境目をできる限りなくす「環境グラデーション」を実現しています。新たな省エネルギー技術を複数採用したことから『ZEB』を実現し、「建築物省エネルギー性能表示制度BELS」の最高評価である5つ星を、また、利用者の健康・快適さを評価する「CASBEE-ウェルネスオフィス」では最高位のSランクを取得しました。2026年に竣工予定の新本社ビルにおいても、多くの環境技術を取り入れ実証したうえで、お客様により確かな技術として提供していきたいと考えています。

「未来・環境エンジニアリングカンパニー」を目指す中で、社会の変化にいち早く対応するため、2024年10月、サステナビリティ推進部門を社長直轄の組織として独立させ、サステナビリティ推進室としました。意

思決定を迅速化し、より社会の期待に応えられる企業へと進化していきます。2024年は、「調達ガイドライン」を改訂しました。環境や人権などの社会課題に対応するには、サプライチェーン全体で取り組むことが不可欠です。このガイドラインはお取引先の皆様と協力していくための指針となるものです。また、従業員に対しては、働き方改革を通じたワークライフバランスの実現に積極的に取り組み、2022年から3年連続で「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されました。そのほかにも、人権方針の策定、TCFDへの賛同、国連グローバル・コンパクトへの参加、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方に沿ったさまざまな活動に積極的に取り組んでいます。

新菱冷熱は、来年2026年2月に創立70周年を迎えます。節目の年に相応しい姿へと変革が果たせるよう、第15次3ヵ年計画の総仕上げを行い、新たな価値創造の土台を築き上げていきます。これからもステークホルダーの皆様のご意見を反映し、お客様に選んでいただける企業を目指してまいります。ご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第15次3ヵ年計画(第68期～第70期)

- 長期ビジョン2030
「未来・環境エンジニアリングカンパニー」
- 第15次3ヵ年ビジョン
成長に向けた変革
“Transformation for Growth”
- 目標達成のための戦略
 - 戦略1 現場改革・エンゲージメント向上
 - 戦略2 コア事業の戦略展開
 - 戦略3 Green & Digital領域を狙う事業創出力強化
 - 戦略4 DX推進

副社長・本部長メッセージ

社会に果たす役割

長期ビジョン「未来・環境エンジニアリングカンパニー」は、先進的な技術でサステナブルな脱炭素社会の実現に貢献する企業の姿を表しています。SDGs経営に取り組む中、「先進技術を活用したエンジニアリングの変革」を経営課題の一つに掲げ、脱炭素技術の開発・導入やDXによる業務プロセス改革、施工現場と一体となったバックオフィスなどを推進しています。さらに多様性を重視したイノベーション創出力の強化にも取り組んでいます。第15次3ヵ年計画の最終年度である本年は、これらを一段と加速させ具体的成果を積み上げていきます。また、次世代の担い手のため、建設業の魅力に社会に伝える重要性も強く認識しており、エンジニアリングの面白さや、都市・建物に命を吹き込む仕事への誇りを、事業を通じ発信していきます。いきいきとした未来に向けて、新菱冷熱が果たす役割は大きいと考えています。



代表取締役 副社長執行役員
技術統括本部長/デジタルトランスフォーメーション推進本部長/
グループ経営推進担当/サステナビリティ推進担当/環境担当

焼田 克彦



副社長執行役員
西日本事業部長

山口 武男

効率的な組織運営による社会課題の解決

新菱冷熱は、サステナビリティの推進を通じた社会への貢献を使命としています。環境負荷の低減はもとより、安心・安全なインフラを提供し、社会全体のレジリエンスを高めることを目指しています。また、地域社会との連携を強化し、地域特性に応じたソリューションを提供することで、持続可能な地域社会の形成にも貢献したいと考えています。

2024年10月、建設業界が直面する労働力不足や環境規制など多岐にわたる課題に対応するため、名古屋・北陸・大阪・中国・九州の5支社を統合した西日本事業部を発足し、全体最適を目指す体制に移行しました。効率的な組織運営を通じて社会のニーズに迅速に応え、お客様や地域社会から信頼されるパートナーであり続けます。そして、社会的価値を共創していく企業へと成長してまいります。

安全で快適な社会の構築

サステナブルな社会の実現に向けて、企業が求められる社会課題は多様化しており、特に気候変動については、多くの企業がカーボンニュートラル・脱炭素の具体的な目標を立てて、取り組みを進めています。

このような社会環境において、新菱冷熱は、産業施設やデータセンター、地域冷暖房施設などさまざまな社会インフラへ高効率な設備システムを提供し、脱炭素社会の実現に貢献しています。また、先進的な技術を社会に提供することが新菱冷熱の使命であると考え、開発した脱炭素技術を自社の施設に導入・効果検証を行い、新技術の確立にも積極的に取り組んでいます。これからも、お客様の信頼できるパートナーとして安心して仕事を任せいただけるよう弛まぬ努力を続け、お客様とともに安全で快適な社会を築いてまいります。



取締役 副社長執行役員
営業統括本部長

渡邊 隆生

グローバルに展開する「さわやかな世界」

新菱冷熱が目指し続ける「さわやかな世界」を実現するため、活躍するフィールドは世界中にあります。1972年、ベトナム・チョーライ病院の空調衛生設備工事を受注して以来、関係する国々の文化・慣習を尊重し、その国の発展に貢献したいという強い思いのもと、東南アジアを中心に20拠点で事業を展開しています。2024年は、新菱グループの海外事業をより強固なものとするため、海外事業の企画・管理部門を海外統括本部として独立させました。また、成長著しいインド市場において、クリーンルームパネルメーカーのGMP Technical Solutionsをインドで2社目のグループ会社を迎え、さらなる事業拡大を目指します。新菱冷熱と海外現地法人10社が「さわやかな世界をつくる」をグローバルに実践し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。



取締役 常務執行役員
海外統括本部長

鍛冶 孝一



取締役 執行役員
管理本部長/コンプライアンス担当/経営企画部長

宮崎 保典

さわやかで創造性に富んだ環境づくり

2024年4月、いよいよ建設業においても改正労働基準法が適用されました。生産性が高く効率的な働き方が、よりいっそう求められます。当社は、2016年から働き方改革を推進し、限られた時間で最大限の成果を出す働き方に挑戦してきました。また、重要課題「さわやかで創造性に富んだ環境づくり」のため、柔軟な働き方を支援する制度の導入や健康経営の推進、人材育成のための多様な教育プログラムの構築などさまざまな取り組みを続けています。これらの取り組みにより、社員一人ひとりが能力を最大限発揮し、変化の激しい時代に柔軟に対応する力を身に付けることが、持続的な企業価値の向上につながると考えています。創業以来、受け継がれてきた「人は最大の財産」という思いを大切に、働く環境づくりに引き続き注力してまいります。

国連グローバル・コンパクトと持続可能な開発目標 (SDGs)



国連グローバル・コンパクトに2014年9月署名



持続可能な開発目標 (SDGs)

新菱冷熱のサステナビリティ推進活動は、国連グローバル・コンパクトと持続可能な開発目標 (SDGs) の考え方を参考にしています。国連グローバル・コンパクトにおける4分野（人権、労働、環境、腐敗防止）10原則、SDGsにおける17の目標の考え方を導入したサステナビリティ推進マネジメントと事業活動を進めています。

これらは、海外での技術提供にも力を注ぐ新菱冷熱が、国際社会から信頼される企業に成長したいという意志の表明です。